



平成28年度
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
記念講演会

《講演》

耕作放棄地対策を考える
－ 牛に任せるのも一法 －

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー
(元 農研機構 畜産草地研究所)

梨木 守 氏

耕作放棄地は2015年には42万haで、富山県の面積に相当するまでに拡大しています。その対策の一つとして牛の放牧があります。ソーラー式電気牧柵を使えばha当たり15万円以下でほとんどの耕作放棄地を放牧地に設定できます。牛1頭に1ha前後の耕作放棄地の管理が任せられ、同時に低コスト・軽労な増頭対策にもなり畜産振興の面でも役立ちます。

日時：平成28年7月6日(水) 14:10～15:30

場所：TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール5
仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル

本講演会は、農林水産省の実施する委託事業「『知』の集積による産学連携推進事業のうち知的財産の技術移転加速化事業及び産学連携支援事業」の一環として実施するものです。

【参加申し込み先】

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局 松井 孝正

〒014-0102 大仙市四ツ屋字下古道3 (国研)農研機構東北農業研究センター大仙研究拠点内

TEL:080-2806-9926

FAX:0187-66-2639

E-mail : tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp